

過去の「みどころ」はHPの
2ページ目以降にあります

ムクロジの黄葉が見られます⑥

ガマズミの実と紅葉③、タカノツメの黄葉④、アカメガシワの黄葉⑤、コナラの黄葉⑦、は園内各所で見られます。

アオツツラフジの実が見られます⑩

カナメモチの実が見られます⑪

三木山ツリーが見られます①

イヌビワの花囊が見られます⑧

クロガネモチの実が見られます⑨

カマツカの実と紅葉が見られます②



三木山ツリー①

イベント「三木山ツリーとリースづくり」で来園者の皆さんが作成した三木山ツリーとサンタクロス&トナカイ達です。夜にはライトアップしてミキナリエになります。



現在、ナラ枯れの影響で痛んでいるコナラが多いですが、本来、コナラ林の紅葉、黄葉は大変美しいです。

コナラの黄葉
(ブナ科) ⑦



赤い実も紅葉も
楽しめます。

カマツカの実と紅葉 (バラ科) ②



赤い実も紅葉も
目立ちます。

ガマズミの実と紅葉 (ガマズミ科) ③



イヌビワの花囊
(クワ科) ⑧

イチジクの仲間で雌雄異株。写真は雌株の花囊(イチジク属の花は「花囊(と呼ばれる)です。実(イチジク属の実は「果囊」と呼ばれます。)がビワに似ており、ビワ程には美味しくないので「イヌビワ」と呼ばれています。



ヨシガモ (雄) (カモ科)

徐々に三木山にも慣れ、中池にいるヨシガモの一部が下池デビューを果たしました。



コガモ (雄) (カモ科)

11 月下旬のみどころに記載のとおり、コガモは三木山に慣れ、下池の常連になっています。



バン (クイナ科)

最近三木山では見かけなくなっていたバンが下池に帰ってきました。



タカノツメの黄葉 (ウコギ科) ④

三木山で多く生育している、3出複葉(小葉が3枚のものをこう呼びます。)の高木です。黄葉が透けるような黄色で大変美しく、若い芽は天ぷらにするとおいしいです。



アカメガシワの黄葉 (トウダイグサ科) ⑤

春の若葉が鮮やかな紅色のため、アカメガシワと呼ばれていますが、秋には大変美しい黄色に「黄葉」します。



ムクロジの黄葉 (ムクロジ科) ⑥

ムクロジの偶数羽状複葉(葉軸に小葉が偶数枚付いています。)がきれいに黄葉しています。



クロガネモチの実 (モチノキ科) ⑨

雌雄異株(雌花と雄花を別の株に付ける植物)であるため、雌株にのみ赤い実を付けます。



アオツツラフジの実 (ツツラフジ科) ⑩

雌雄異株で、雌株に青から黒色に熟す目立つ実が結実します。有毒です。



カナメモチの実 (バラ科) ⑪

三木山には、比較的多く生育している常緑の小高木です。12月頃に実が赤く熟します。